

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	交通安全対策事業（視距改良事業）					
地区名	一般県道 <small>ささどおたぎせん</small> 笹戸小田木線					
事業箇所	<small>とよたし おたぎちよう</small> 豊田市 小田木町地内					
事業のあらまし	<p>当該路線は、三河山間地域の町村間を東西に結ぶ幹線道路である。</p> <p>当該箇所は幅員が狭く見通しの悪いカーブが連続するため、すれ違いが困難な状況となっており、近隣住民から一般交通の安全確保が強く望まれている。</p> <p>以上の観点から、視距改良を行い、通行車両の安全性の向上を図るものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①交通円滑化</p> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2013年度)	再評価時(1回目) (2018年度)	再評価時(2回目) (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2013年度 ～2017年度	2013年度 ～2021年度	2013年度 ～2026年度	用地取得難航による事業の長期化	
	事業費（億円）	0.6	0.6	1.6	下記内訳の要因による増額	
	経費内訳	工事費	0.4	0.4	0.9	・補強土工の追加による増額 ・労務費単価の増及び建設資材価格高騰による増額
		用補費	0.1	0.1	0.4	・用地費の精査による増額 ・補償金額の精査による増額
		その他	0.1	0.1	0.4	・工法の追加など設計計画の追加による増額
事業内容	待避所設置 L=0.26km W=6.5m	待避所設置 L=0.26km W=6.5m	待避所設置 L=0.26km W=6.5m	待避所設置 L=0.26km W=6.5m	変動なし	

II 評価																																																																																																																																																			
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化 【事前評価時の状況】 ・幅員が狭くカーブ区間が連続しており、すれ違いが困難な状況となっている。 【再評価時（1回目）の状況】 ・すれ違いが困難な状況に変化はない。 【再評価時（2回目）の状況】 ・すれ違いが困難な状況に変化はない。 【変動要因の分析】 ・周辺状況等に変化はなく、今後も改善が必要となる。																																																																																																																																																		
	判定 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px; font-size: 24px; font-weight: bold;">B</div> <div> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> </div> </div> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 待避所確保の必要性は変わらず、再評価時（1回目）に引き続き事業の必要性がある。 																																																																																																																																																		
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況 【事業計画及び実績】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2013</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>↔</td><td></td><td></td><td>↔</td><td>↔</td><td></td><td>↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>↔</td><td>↔</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>↔</td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>↔</td><td>↔</td><td>↔</td><td>↔</td><td>↔</td><td>↔</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="14">0.6</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">0.1</td> <td colspan="4">0.8</td> <td colspan="4">0.8</td> <td colspan="4">0.8</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4">0.1</td> <td colspan="4">0.8</td> <td colspan="4">0.8</td> <td colspan="4">0.8</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.26</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>1.6</td> <td>0.9</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.9</td> <td>0.3</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地買収を行った箇所の一部で補強土工を施工した。 			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	計	工種 区分	調査・設計	↔			↔	↔		↔					↔	↔			用地補償									↔					↔		工事									↔	↔	↔	↔	↔	↔		事業費 (億円)	前回計画	0.6														0.6	実績	0.1				0.8				0.8				0.8				0.8	今回計画	0.1				0.8				0.8				0.8				1.6		これまでの計画に対する達成状況			計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	延長(km)	0.26	0.0	0%	事業費(億円)	1.6	0.9	58%	工事費	0.9	0.3	33%	用補費	0.4	0.3	91%	その他	0.4	0.3	86%
			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	計																																																																																																																																		
工種 区分	調査・設計	↔			↔	↔		↔					↔	↔																																																																																																																																					
	用地補償									↔					↔																																																																																																																																				
	工事									↔	↔	↔	↔	↔	↔																																																																																																																																				
事業費 (億円)	前回計画	0.6														0.6																																																																																																																																			
	実績	0.1				0.8				0.8				0.8				0.8																																																																																																																																	
	今回計画	0.1				0.8				0.8				0.8				1.6																																																																																																																																	
	これまでの計画に対する達成状況																																																																																																																																																		
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】																																																																																																																																																
延長(km)	0.26	0.0	0%																																																																																																																																																
事業費(億円)	1.6	0.9	58%																																																																																																																																																
工事費	0.9	0.3	33%																																																																																																																																																
用補費	0.4	0.3	91%																																																																																																																																																
その他	0.4	0.3	86%																																																																																																																																																
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> 用地調査の結果、登記と現況が相違していることが判明し、その調査に時間を要したため。 																																																																																																																																																		
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地調査に時間を要した。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地調査は完了し、事業への反対者もいないため、用地買収できた箇所から順次工事を進め、2026年の完成を目指す。 																																																																																																																																																		

判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・ これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	【理由】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業への反対者はなく、2026年度の事業完了が見込まれるため。
III 対応方針		
継続	<p>中止： 上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続： 上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施前後の通行車両の安全性の変化 		